

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月31日 (2019.1.31)

【公表番号】特表2018-507006(P2018-507006A)

【公表日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-532734(P2017-532734)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/04 (2006.01)

A 6 1 F 5/04 (2006.01)

A 6 1 F 5/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/04 Z

A 6 1 F 5/04

A 6 1 F 5/01 N

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月14日 (2018.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

形状成形可能な装置であって、

前記装置を所望の形状に形成することができるように、前記装置が成形可能な第 1 の状態と、

前記装置が前記所望の形状を有し、前記第 1 の状態よりも実質的に、より成形しにくい第 2 の状態と、

チャンバを画定し、かつ、ガス不透過性材料で形成された包被と、

前記チャンバを周囲と流体連通するように配置されたポートと、

前記チャンバ内に配置された繊維状材料と、を備え、前記繊維状材料は、前記装置が前記第 1 の状態にあるときよりも前記第 2 の状態にあるときの方が、実質的に、より成形しにくい、装置。

【請求項 2】

前記繊維状材料は、

少なくとも前記装置が前記第 1 の状態にあるときに、前記繊維状材料内で互いに対して移動可能な部分を有する繊維と、

少なくとも前記装置が前記第 1 の状態にあるときに、前記繊維状材料内で互いに対して移動可能な複数の繊維と、のうちの少なくとも一方を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記チャンバ内の前記繊維状材料に隣接して配置された支持シートを更に備える、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記支持シートは、主表面を有するロック用シートを含み、前記ロック用シートの少なくとも一部分は、中実領域及び開口領域を含むようにパターン化され、前記中実領域は、前記主表面内で互いに対して移動可能である、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記中実領域は、第 1 の位置から、塑性変形なしに印加された力が除去された後に維持され得る第 2 の位置まで、前記主表面内で互いに対して移動可能である、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記装置は、前記第 1 の状態のときに第 1 の有効引張弾性率 (E_{UL}) と、前記第 2 の状態のときに第 2 の有効引張弾性率 (E_L) とを有し、前記第 2 の弾性率と前記第 1 の弾性率との比 (E_L / E_{UL}) は少なくとも 2 である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 7】

前記装置は、前記第 1 の状態のときに第 1 の有効曲げ弾性率 (B_{UL}) と、前記第 2 の状態のときに第 2 の有効曲げ弾性率 (B_L) とを有し、前記第 2 の弾性率と前記第 1 の弾性率との比 (B_L / B_{UL}) は少なくとも 2 である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 8】

前記装置はシート状である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の装置。